

令和3年度第1回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録

日時：令和3年8月5日（木）10時00分～11時00分

場所：本館 3階 304会議室

出席者（敬称略）

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
石山 さゆり	出	井川 春奈	欠	蟹川 美和	欠
小森 雅子	欠	入江 有希子	出	北村 昌一	出
山田 雄三	出	永嶋 久子	出	占部 圭司	出
中村 裕	出				

1 はじめのあいさつ

宗像市男女共同参画推進懇話会 石山さゆり会長

2 議事録署名人選出

議事録署名人： 永嶋久子委員

3 報告

- (1) 前回議事録について（資料1）
- (2) 意見書（資料2）

4 議事

- (1) 令和3年度スケジュール（資料3）

今年度は2回または、3回開催予定。

次回は10月頃に予定している。次回、令和2年度プラン実績報告について評価の確定と意見書の内容を検討していただく。進捗状況によって3回を開催する。

- (2) 第2次宗像市男女共同参画プラン 令和2年度プラン実績報告について

担当課及び男女課の評価について事務局から説明

令和2年度新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、事業の延期・中止などで内容の見直しが相次ぎ、当初の計画を予定どおり実施することは、困難な状況があった。このため、担当課でコロナのため一部実施できていないことについては、各課の評価にばらつきが見られた。コロナに関係するところ以外の状況を鑑みてある程度の目標は達成していることで評価をA判定としているところがあったり、緊急事態宣言で関係事業を中止しているため、一部の取り組みについて課題が残りC判定としたりしている。男女課では、一部事業について、コロナの関係で事業ができない、相手側（コミュニティ活動を含む）の都合で事業が実施できない等がある場合は、その部分を除いて評価し判定している。また、事業の実施がなかったものについては、Eとしている。

課題が残っていると担当課が自己評価した事業について事務局から説明

事業番号6 子ども家庭課

健診や相談会・教室等の一部が、延期や中止になったが、感染症対策を行いながら実施したものもある。地域への働きかけとして民生委員と連携できなかったことを課題としている。

事業番号7 子ども育成課

現状として、令和3年時点で待機児童は全体として63人だったが、希望する園へ入れなかった方も含めている。これを除くと42人（1歳～2歳 25人）だった。

事業番号10 人事課

職員に対して仕事と家庭の両立の意識づくりに関する取り組みが、まだ十分ではないため課題としている。両立支援ハンドブックを改訂し配布しているが、まだ十分に周知できていないため周知の回数を増やして取り組む。

事業番号 12 人事課

男性職員の育児休暇取得数はゼロだった。育児休暇手当金の支給や社会保険料の免除など、職員が十分に制度を把握していないため取得をためらっている状況が見られる。制度説明が十分に足りていないという課題があり、今後、職員への理解を深めていく。

事業番号13、16 人事課

ハラスメントについて職員へアンケート実施しているが、アンケート結果では対象となる事案が0件にはなっていないため課題ありとしている。

事業番号23 学校管理課・建築課

ユニバーサルデザインによる公共施設の設備については、昨年度のヒアリングでも課題として出ている。今後の改修工事や新設工事を実施する場合は、検討を進めていく。全体評価としてB判定としている。

事業番号27 子ども育成課

前年度までは、教育研修補助金として関係団体へ補助していたが、令和2年度から廃止した。これに変わる事業の検討を行い、人権対策課から幼稚園へ関係する情報の提供を行っている。今後男女課や人権対策課と連携して取り組んでいく。

事業番号29 教育政策課

中学2年生が毎年9月に企業で職場体験を行う「わくわくワーク」事業を実施している。コロナ禍のため、事業が中止になっている。その他の課題として、協力企業の確保が困難な状況がある。校長会などで、この事業にかかわるキャリア教育を検討していく。

事業番号36 人事課

昨年度は、男性のみだった部署に新たに女性を配置した。男女の性別の差なく異動の検討をしている。まだ不十分なところもあるため、B判定としている。

事業番号37 男女課

コロナ禍ということもあり、地域への働きかけができず、併せて共催事業の中止やコミュニティの活動中止等もあり、例年の取り組みができていない。地域への働きかけについては、工夫した取り組みを検討しているが、判定としてはBとしている。

事業番号38

子ども支援ボランティア講座への男性の参加を募ってきた。令和2年度の受講者は

29人（うち3人が男性）となり増加した。個人的な声掛けではなく、もう少し若い年齢層にも募っていく必要がある。

事業番号46 子ども育成課

留学生の交流が中止になり実施できない。企業と連携して実施可能な事業ができたのではないかと課題である。B判定としている。

〈質疑等〉

○委員、●事務局

- コロナ禍の中で市として年度目標を修正しなかったのか。
- コロナの状況がこのように長期になり、活動に影響があるとは考えていなかったため、目標の修正はしていない。
- コロナの影響をどのように評価したらいいのか。
- 先ほど説明したものについては、コロナの影響を考慮して男女課の評価をしている。この評価が妥当かどうかについて、委員に評価していただき、ご意見をいただきたい。
- 昨年度は、様々な講座などの事業が中止や延期になったが、その中でも、年度末の事業を除き、仕切り直しを行ったものが多くある。当初の予定とは違うが、コロナ禍の中で内容の修正等、様々な検討を行いながら実施したことなどを評価している。
- 今後コロナの影響が続くと思うので、目標をコロナ禍と通常通りの2パターンで考えることも必要ではないか。大学などでもそうしている。この状況を考慮して評価するのは、とても困難だと感じる。
- 目標の見直しやケースに応じた設定については、来年度目標設定については今後検討していく
- 先ほど話した課題になった部分の特記事項として資料に記入してほしい。それが文字として表されないと理解しにくい。
- 今後そのようにしていきたい。
- 懇話会で毎年事業の評価を実施しているが、形式的な評価になっていると感じる部分がある。それぞれ課題や数値の記入を丁寧にしてほしい。
- 評価するのが目的ではなく、委員からの意見を基に事業をより良いものにしていくことが目的。是非様々な観点からのご意見をいただきたい。数値等については、できる限り入れていきたい。
- 庁内のヒアリングは、課の担当者レベルとするのか。懇話会へそれぞれの課の担当が参加して説明することはできないか。
- ヒアリングは担当者レベルで行っている。担当課の出席・説明については、時間等の制約もあり、全ての課からは難しいかもしれないが、懇話会から指名を受けた課などに絞れば、調整はできるかもしれない。

(3) 第3次宗像市男女共同参画プラン令和3年度目標について（資料7）

数値目標の令和3年度当初の数値について事務局から説明

事業番号 5：市の審議等の女性の登用率は令和2年度当初が36.1%。年度末時点で38.7%となっている。目標の40%をめざす。

- 事業番号 9 : 企画主査（係長級）以上の女性の割合は、令和2年度当初で25.6%。
令和3年度当初で27.9%に増加しており、取り組みに成果がでている。
- 事業番号10 : Fabbit 宗像の活用による女性の創業者は1人。令和4年度までに3人目指す。
- 事業番号16 : 目標は待機児童ゼロ。令和3年度当初で42人だった。
- 事業番号21 : 「DVなどの相談窓口があることを知っているか」との市民アンケートの結果は62%。（男性58%、女性66%）
- 事業番号41 : 「男女共同参画という言葉を知っているか」との市民アンケートの結果は55%。（男性61%、女性55%）

〈質疑等〉

- コロナ禍の中、実際に研修等に来てもらうだけではなく、オンデマンドなどにも取り組んでほしい。
- 今後は、現場での事業とオンラインによる事業のハイブリッド方式がメインになってくるのではないかと想定している。多様な事業の実施方法を検討していきたい。
- 待機児童ゼロは可能なのか。宗像市は出生率が高いと聞いている。
- 子ども子育て支援事業計画にもこの数値を設定しており、最大限の努力をしていく。
- 女性の登用については目標達成を早く実現してほしい。以前、男女課がコミュニティの役員会等に参加し、説明をしたことがあった。1回だけではなく、引き続き様々な機会をつくり、説明してほしい。
- コミュニティ活動については、今全体の見直しを行っているところ。その中で男女共同参画を意識した組織や事業のあり方を検討していただきたいと考えている。引き続きコミュニティと協議していく。
- 自治会の三役（会長、副会長、会計）を見ると、女性の登用率は低いですが、規約に基づく役員全体で見ると、27.5%となる。意思決定過程に女性が参画していないわけではない。この割合を上げていけるよう、引き続き各コミュニティに働きかけをしていく。

5 事務連絡

- ・議事録について…事務局で作成したものを委員に送る。ご確認いただき、修正終了後、署名人に署名をいただく。次回最終確認する。
- ・次回予定…第2回懇話会は10月予定。後日、日程を調整し案内を送付する。

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

永嶋 久子 